

岡山博愛会だより



春号

2024年4月発行

表紙：2024年度 笑顔が素敵な新入職員



P.2 新年度のご挨拶

P.3 特集 元気になっておうちへ帰ろう
・当院のリハビリテーションについて

P.4 看護部より
・新人教育プログラムについて

P.5 医事課より
・生活習慣病のご紹介

P.6 入退院サポートセンターより
・ちょっとひといきひと制度 ～高額療養費制度について～
薬剤部より ・春に咲く漢方薬

P.7 はくあい NEWS
・2024年 岡山博愛会入職式
・山陽新聞賞贈呈式
・太陽光発電モニター設置

P.8 特別養護老人ホーム アダムスホーム ・春の行事
岡山博愛会保育園 ・冬の寒い日でも外で遊ぶことが大好き♪



2024
新年度の
ご挨拶

思いもかけないことでありましたが、正月明けの11日 山陽新聞賞をいただきました。岡山博愛会は創立133年を経て、地域で多くの方に支えられ今日を迎えることができました。神様はアメリカンボードの宣教師アダムス先生を用いてこの働きを始められ、多くの方によって支えられてきたことを私たちは知っています。多くの困難を経験しましたが、最大のものは1945年6月の岡山空襲による全ての焼失でした。アダムスより後継者として立てられた私の父 更井良夫は、宣教師団からの事業費が無い中で地域の賛助会費、寄付金皇室、県市の補助金で困難な経営の中、自身も1月に応召し岡山を離れておりました。留守の全てを委ねられたのは3人の娘を抱えた私の母 美子でした。6月17日の水島空襲で次女の洋子を亡くした直後の岡山空襲で逃げまどい、岡山博愛会は焼跡に焼け焦げた木の根と金庫だけを残していました。当時の理事長 赤沢氏は緊急理事会を招集し、良夫の不在のままに解散決議をしていたのです。復員した良夫は各理事を訪ね、岡山博愛会復興の必要を話して同意を得、再び理事会を焼け残った中国銀行本店で開き、戦後復興の歩みを幾多の困難の中で始めました。神様の事業を滅ぼすわけにはいかなかったと後で聞きました。この復興決議が無ければ今の岡山博愛会はありません。私は1981年岡山博愛会分院に入職し、43年を岡山博愛会と共に歩むことができました。唯^{ただ}感謝です。



理事長 更井 哲夫



副理事長・院長 中尾 一志

新年度を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザなどと同等に扱われる病気になってから、もうすぐ1年を迎えます。ただ、病気の性質は変わりませんので、上手に付き合い心身の健康を保っていただきたいと思います。

大変ありがたいことに、コロナ禍にあっても当院をご利用いただく入院患者さんの数は増え続け、昨年度も過去最高を更新しました。厳しい医療情勢下でしたが「回復期から在宅医療を支える病院」としての役割を全うすべく全職員が一丸となって取り組んだ結果です。職員の尊い働きに感謝です。

当院独自の取り組み「おうちへ帰ろうプロジェクト」に力を入れて推進して参りました。口から楽しく安全に食べるための支援、生活動作に重点を置いたリハビリテーション、退院後の生活のための手厚い退院支援がこのプロジェクトの3本柱です。患者さんが元気になっておうちへ帰っていただくことを全職種の共通目標とし、チーム医療を推進してきました。この取り組みを通じて、患者さんご家族の安心や喜び、職員のチームワークの醸成、達成感、やりがいなどがさらに広がることを期待しています。

岡山博愛会病院は職員が一丸となって病院の体制や機能を充実させ、様々な課題に対応し、微力ながら地域医療に貢献できるよう、努力して参ります。

今年度も岡山博愛会病院をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



元気になっておうちへ帰ろう

当院では「元気になっておうちへ帰ろう」をスローガンに、生活するためのリハビリテーションを提供しています。お一人おひとりに合った生活能力を獲得し、豊かな人生を送ることができるように、お手伝いしています。今回は当院のリハビリテーションについて説明します。

運動器疾患について

転倒などによる骨折の手術をされた方に対して、動作の範囲を調整し、低下した筋力や関節の動く範囲の改善を図りながら荷重制限を行います。日常生活動作の姿勢や動作の指導や更衣・入浴時などでの危ない姿勢を行わないように適切な動作の練習を行います。



荷重練習



更衣動作練習

摂食機能療法について

脳の病気や高齢により喉の力が落ちてきた方に対して、適切な食事の形や姿勢などを指導し安全に口から食べられるように訓練を行います。喉の感覚を上げる機械をつけて食べる練習もあります。



食べ物を使った訓練

脳血管疾患について

脳梗塞などの脳の病気によって体に障害が出た場合に、装具などを用いて動作の再学習や再獲得を図ります。日常生活訓練を行い、トイレ動作の獲得を目指すため、立ち上がりや立った時のバランスを安定させる練習を行っています。高次脳機能障害が認められる方に対しては、様々な評価及び訓練を入院当日より開始しています。



トイレ動作練習



装具での歩行練習

口腔ケアについて

入院時に口腔状態や歯磨き方法を評価し、必要に応じてその方に合った口腔の健康から入院生活をサポートします。口腔機能の維持・向上や、誤嚥性肺炎をはじめとする口腔内細菌による感染症や、合併症の予防に努めます。



歯科衛生士による口腔ケア



看護部では2023年度、11名の新人看護師の入職がありました。その新人たちも夜勤が始まり、1人前に成長しています。当院では看護部の新人教育担当部署を立ち上げ今年で5年、2年目以上の看護師の継続教育も強化へ向けて計画中です。

4月新人研修は法人内での集合研修に加え、約2週間看護部での集合研修を行います。内容は「新人看護師の心得」「看護師としての接遇とマナー」「社会人基礎力」「看護倫理」など看護師としての基本的な姿勢の学習、安心で安全な看護技術の提供を行うため、生体モデルを使用しての実技練習を行っています。

その後、4月下旬から1～2週間ごとに4か所の病棟を経験し、個々の強みが活かせる配置を考え、6月より正式配属をします。各病棟での教育担当者やプリセプターナース（先輩看護師）がチーム内でしっかり指導と見守りを行いながら、入院患者さんを受け持ち、病態の把握と判断能力・看護実践能力を磨いていきます。

2年目以降は、プリセプターシップ研修や勉強会、法人施設での外部研修など自主的な研修を積極的に行い、自己実現に向けて視野を広げスキルを磨いていきます。

看護部理念である「愛をもってあなたらしさを支え続ける」を心に留め、患者さんへ、そして自分自身にも心温まる看護ができるよう成長を見守っています。

新人教育プログラム

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ジョブローテーション（2週間ごと） 	1日の業務の流れ把握
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育体制 年間計画 ・基本的な看護ケア技術 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止・事故防止研修 ・フィジカルアセスメント 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・オーダーリング操作 ・部門ソフト操作 ・院内研修 	部署配置
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6人受け持ち ・フォローアップ研修 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器研修 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表 	夜勤入り
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急入院受け入れ ・フォローアップ研修 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・麻薬の投与 / 管理 	
1月		2年目へ向けて振り返り取り組む
2月		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・看護技術習得チェック 	



生体モデルを使用した実技練習



プリセプターシップ研修



看護師医療勉強会

医事課より

From the medical affairs division

生活習慣病のご紹介

生活習慣病とは、食事・運動・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の原因となる病気のことを言います。主に糖尿病・脂質異常症・高血圧などがあり、日本人の健康に大きく影響しています。現在、日本では生活習慣の変化や高齢者の増加などにより、生活習慣病の患者さんは年々増加傾向にあります。気づかないうちに進行し、心筋梗塞や脳卒中などの深刻な病気を引き起こすこともあるため、早めに治療していくことが大切です。

当院では、患者さんに寄り添った診察を行い、重症化を予防し、健康寿命を延ばす取り組みに力を入れています。医師・看護師・管理栄養士など多職種で患者さんの生活習慣病の予防・改善をサポートしていきます。

また、令和6年度診療報酬改定に伴い、厚生労働省より生活習慣病患者さんへの質の高い治療管理を行う方針も新たに示されています。そのため、糖尿病、脂質異常症、高血圧の病気を治療中の方は6月から窓口負担が以前より増えることとなります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。今後も、患者さんに安心・満足いただけるように、精一杯取り組んでまいります。



入退院サポートセンターより

From the admission and discharge support center

ちょっとひといきひと制度 ～高額療養費制度について～

ご自分やご家族が急に入院することになったり、がん治療などで月に何回も外来受診が必要となったりしたときに、まずは「高額療養費制度」があると覚えておいてください。

「限度額適応認定」を事前に窓口申請しておけば、年齢や所得に応じた1か月分（各月1日～末日）の医療費上限額の医療費のみを医療機関や薬局の窓口で支払うことができます。

手続きの窓口は保険者になりますので、ご自分の持っている保険証をご確認ください。協会けんぽだと…



当院ではマイナンバーカードの健康保険証利用を行えば、窓口で限度額の確認ができます！
昨今においては、医療保険や介護保険など制度が複雑に絡み合っていますが、ぜひ上手く使いこなして過ごしてくださいね！分からないことがあればお気軽に入退院サポートセンターへご相談ください。

薬剤部より

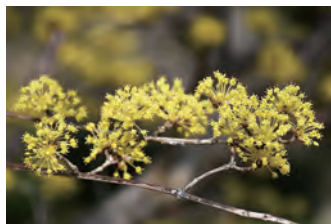
From the Pharmacy Department

春に咲く漢方薬



春を告げる身近な花の中には、漢方薬として用いられる植物もあります。

山茱萸 (サンシュユ)



サンシュユの花は黄色い小花が小さな花房をつくります。漢方薬として用いるのは、果肉を乾燥したものです。漢方的には、肝腎を補う、固精、止汗の効能があり、足腰の痛みやめまい、性機能の低下、頻尿や夜尿症の治療に用いられます。

<サンシュユが含まれる漢方薬>

八味地黄丸・六味地黄丸・味麦地黄丸・杞菊地黄丸・牛車腎気丸・知柏地黄丸

連翹 (レンギョウ)



レンギョウは一般にレンギョウ属の植物の総称です。漢方薬として用いるのは、果実を乾燥したものです。漢方的には、清熱、解毒、消腫の効能があり、熱性の疾患や化膿性の皮膚病などに用いられます。

<レンギョウが含まれる漢方薬>

十味敗毒湯・柴胡清肝湯・治頭瘡一方・治頭瘡一方去大黄・清上防風湯・独活湯・荊芥連翹湯・荊防敗毒散・防風通聖散・響声破笛丸・驅風解毒散（驅風解毒湯）

漢方薬を処方されている方の中には、今回ご紹介した植物が含まれているかもしれません。皆さまも、ご自分が飲まれている漢方について気にかけてみてください♪

はくあい NEWS



2024年岡山博愛会入職式

4月1日(月)に入職式を行い、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、医療事務員、介護福祉士、保育士など合わせて42名の新入職員を迎えました。



式典では理事長より辞令交付され、新入職員の代表者が医療人としての決意と抱負を強く宣言しました。新入職員の皆さんは緊張した面持ちながらも同期となる仲間と交流する姿が見られ、期待に胸を膨らませた表情をしていました。研修後は各部署に配属され、実際の現場で技術や知識を会得していきます。今年度も新しい仲間とともにチームとなって、一致団結していきます。

山陽新聞賞贈呈式

当法人の更井理事長が、山陽新聞賞を受賞いたしました。この賞は地域社会への貢献や国際舞台での活躍が顕著な岡山県、広島県などの個人・団体を顕彰し、毎年贈られるものです。

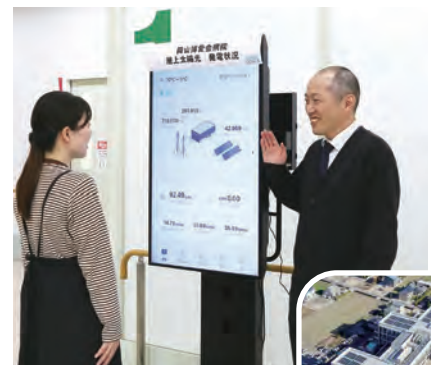
1月11日(木)、第82回山陽新聞賞の贈呈式がホテルグランヴィア岡山で行われ、山陽新聞社 代表取締役社長 松田正己様より賞状と日本芸術院会員 蛭田二郎氏が制作されたメダルを授与されました。また、3月17日(日)には山陽新聞賞受賞祝賀会を執り行い、更井理事長は喜びの表情で「支えてくださった皆さまの大きな愛と、ピンチのたびに解決してくださった神様の愛に感謝したい」と歩みを振り返るとともにお礼のこトバを述べられました。そしてこれからも「自分のして欲しいように人にしてさし上げる」という理念のもと、職員一丸となりより良い医療・福祉の提供に努めてまいります。



山陽新聞賞受賞祝賀会 左 更井理事長 右 奥様

太陽光発電モニター設置

今年1月より合計310枚の太陽光パネルを屋上に設置し、施設内の使用電力の一部をクリーンエネルギーに切り替えています。この度、病院1階待合に太陽光パネルの発電状況がリアルタイムで確認できるモニターを設置いたしました。お越しの際は是非ご覧になってください。引き続き、環境に配慮したエネルギー源を使用することでCO₂の削減に繋げるとともにSDGsの達成を目指していきます。





アダムスホームでは、年間の行事やレクリエーションを行い、利用者さんの余暇時間の充実を図っています。

今回は、焼き芋や正月の習字や福笑い、節分などを行いました。

季節に合わせた行事を行うことで利用者さんからの笑顔が見られ、楽しんでいただくことができました。



岡山博愛会保育園

冬の寒い日でも外で遊ぶことが大好き♪

🌞 おかやまはくあいかいほいくえん 🌞

暖かい時間を見つけては園庭で遊ぶことを楽しんでいる子どもたち。小さいクラスの子どもたちは、園庭のいろんな所に歩いて行っては自由に探索を楽しんでいます。見つけたものを嬉しそうに指さして保育士に伝え、喜びを共有しようとする姿も見られます。

また3、4、5歳児になると、友だちと元気に走り回って鬼ごっこを楽しみ、縄跳びで前跳びを何回跳べるか夢中になって挑戦したり、二人跳びにもチャレンジしています。子どもの心身の成長にとって、冬の外気に触れ、太陽の日差しを浴びることは五感が刺激され免疫力も向上するなど、良いところがあります。これから暖かくなる季節、しっかりと外遊びを楽しんでいきたいと思えます。



ホームページ



Instagram



Face book



社会福祉法人 岡山博愛会
岡山博愛会病院

〒702-8005 岡山市中区江崎456-2
TEL (086) 274-8101 FAX (086) 274-8005
患者サービスセンター 入退院サポートセンター
TEL (086) 274-8009 FAX (086) 274-8171

岡山博愛会病院 介護医療院 みくに
特別養護老人ホーム アダムスホーム
養護老人ホーム 岡山市友楽園
在宅総合支援センター アリス

- ・デイサービスセンター ハレルヤ
- ・訪問看護ステーション サマリア
- ・岡山博愛会 居宅介護支援事業所

訪問介護ステーション ホサナ
在宅サポートセンター ミッションハウス
・岡山博愛会 御幸町クリニック
・看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ
・グループホーム まこと

岡山博愛会 保育園



企画・編集 岡山博愛会広報委員